



創価大学（東京都）

Discover your potential –創価大学で「自分力」を発見し、世界平和と新しい文化の創造の担い手として、巣立ちゆくことを心から願っています！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

創価大学は、世界の平和と人類の幸福を実現するために活動する池田大作博士によって、

- 「人間教育の最高学府たれ」
- 「新しき大文化建設の揺籃たれ」
- 「人類の平和を守るフォートレスたれ」

との建学の精神を掲げ、1971年に創立された。

以来、創価大学は「学生第一の大学」を基本理念として、充実した教育課程とサポート体制を整えている。特に国際交流を重視し、留学生用の奨学金や宿舎は充実しており、61カ国・地域から多数の留学生が集っている。

学部では経済学部、経営学部、法学部、文学部、教育学部、理工学部、看護学部に加え、2014年度には新たに国際教養学部が開設された。また大学院では、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、教育学研究科、工学研究科、法科大学院、教職大学院を擁する総合大学として国際性も豊かに最高レベルの教育を提供している。平和のために貢献できる人材の輩出を目指してきた創価大学は、既に多くの卒業生が世界各国で活躍している。

- 学部生 : 6505 名
- 大学院生 : 390 名
- 専任教員 : 363 名
- 学部数 : 8学部（経済、経営、法、文、教育、理工、看護、国際教養）
- 大学院 : 6研究科（経済、法、文、国際平和、教育、理工）

専門職大学院 : 法科大学院、教職大学院
※統計は2022年5月1日現在

② 国際交流の実績

交流協定大学数：65カ国・地域、235大学（2022年9月現在）

留学生数：502名（2022年5月1日現在）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数 502人、日研生 9人

2021年：留学生数 656人、日研生 6人

2020年：留学生数 597人、日研生 0人

④ 地域の特色

八王子市は20以上の大学等が集まる学園都市である。自然が豊かな街としても有名で、市内の「高尾山」はミシュランガイドにも紹介され、世界中から多くの観光客が訪れている。歴史的にも古くから発展した八王子は戦国時代には「滝山城」「八王子城」などを舞台に多くの合戦が行われた。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

初級前期、初級後期、初中級、中級前期、中級後期、上級の6段階のコースがあり、学生は自分の日本語能力に合った科目を履修することができる。また、英語で授業が行われる科目の履修を主目的とする学生が日本で生活する上で必要な日本語を学ぶ「日本語基礎」、非漢字圏学生のための「初級漢字」、大学院受験・進学準備のための「日本語V・VI」を設けている。日本語のほか、日本の伝統文化も学ぶことができる。

③ 受入定員

大使館推薦10名、大学推薦10名



④ 受講希望者の資格、条件等

- 外国において大学等の高等教育課程に在籍した経験を持っている者
- 以下いずれかの資格を持っている者
 - ・日本語能力試験N5レベル以上を持つ者
 - ・TOEFL iBT71点以上の英語能力を持つ者
 - ・英語を母語として使用している者

⑤ 達成目標

初級前期：初歩的な日本語（文法・漢字・語彙）を習得し、簡単な会話、平易な文の読み書きができる。JLPT（日本語能力試験）N5合格レベルを目指す。

初級後期：基本的な日本語を習得し、日常の会話、簡単な文の読み書きができる。JLPT（日本語能力試験）N4合格レベルを目指す。

初中級：初級の日本語を十分に習得し、自然な日常会話、書き下ろした文の読み書きができる。JLPT（日本語能力試験）N3合格レベルを目指す。

中級前期：やや高度の日本語を習得し、一般的な事柄についての会話、読み書きができる。JLPT（日本語能力試験）N2合格レベルを目指す。

中級後期：社会生活上、あるいは大学教育を受けるのに必要な日本語能力を身につける。JLPT（日本語能力試験）N1合格レベルを目指す。

上級：大学教育、あるいは大学院教育を受けるのに十分な日本語能力を身につける。JLPT（日本語能力試験）N1高得点を目指す。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2023年9月上旬 ～ 2024年7月下旬
（在籍期間：2023年9月1日～2024年7月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2023年9月 ～ 2024年7月

⑧ 研修・年間スケジュール・

9月上旬：渡日、秋学期オリエンテーション
9月中旬：秋学期授業開始
10月上旬：大学祭
11月頃：留学生研修旅行
12月下旬：年内授業終了
1月上旬：留学生新年会
1月中旬：秋学期授業終了、期末定期試験
1月下旬：学年末休業

4月上旬：春学期オリエンテーション
授業開始

6月頃：留学生研修旅行

7月下旬：春学期授業終了、期末ガイダンス
期末定期試験、春学期修了式
帰国

※2023年度よりターム制が導入されるため、スケジュールが若干変わる可能性がある

⑨ コースの修了要件

創価大学の授業は、各学期とも15週間＋試験で単位を認定する。

日本語科目：

週90分（1コマ）×15週 で2単位

講義・演習：

週90分（1コマ）×15週 で2単位

一週間に7コマ以上履修し、単位が認定された学生には、受講証書と成績証明書を発行する。もし在籍期間証明書や修了証明書が必要な場合は国際課に申請すること。成績証明書の発行時期は以下の通り。秋学期の成績は、学期修了後2月上旬に発行予定。春学期の成績は、学期修了後8月上旬に発行予定。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

各レベルごとに右表の日本語科目が設置されている。

クラス	科目	単位	コマ	時間
ES	日本語基礎	6	3	67.5時間
	日本語総合入門	10	5	112.5時間
E0 初級前期	日本語演習入門	2	1	22.5時間
	日本語聴解入門	2	1	22.5時間
	日本語文章表現入門	2	1	22.5時間
	日本語口語表現入門	2	1	22.5時間
	初級漢字	2	1	22.5時間
	日本語総合 I	10	5	112.5時間
E1 初級後期	日本語演習 I	2	1	22.5時間
	日本語聴解 I	2	1	22.5時間
	日本語文章表現 I	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 I	2	1	22.5時間
E2 初中級	日本語文法 II	2	1	22.5時間
	日本語文章表現 II	2	1	22.5時間
	日本語読解 II A	2	1	22.5時間
	日本語読解 II B	2	1	22.5時間
	日本語聴解 II A	2	1	22.5時間
	日本語聴解 II B	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 II A	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 II B	2	1	22.5時間
E3 中級前期	日本語文法 III	2	1	22.5時間
	日本語文章表現 III	2	1	22.5時間
	日本語読解 III A	2	1	22.5時間
	日本語読解 III B	2	1	22.5時間
	日本語聴解 III A	2	1	22.5時間
	日本語聴解 III B	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 III A	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 III B	2	1	22.5時間
E4 中級後期	日本語文法 IV	2	1	22.5時間
	日本語文章表現 IV	2	1	22.5時間
	日本語読解 IV A	2	1	22.5時間
	日本語読解 IV B	2	1	22.5時間
	日本語聴解 IV A	2	1	22.5時間
	日本語聴解 IV B	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 IV A	2	1	22.5時間
	日本語口頭表現 IV B	2	1	22.5時間
E5 上級	日本語読解 V A	2	1	22.5時間
	日本語読解 V B	2	1	22.5時間
	日本語聴解 V A	2	1	22.5時間
	日本語聴解 V B	2	1	22.5時間
	日本語表現 V A	2	1	22.5時間
	日本語表現 V B	2	1	22.5時間
E5 学部	日本語 III	2	1	22.5時間
	日本語 IV	2	1	22.5時間
	日本語 V	2	1	22.5時間
	日本語 VI	2	1	22.5時間
共通	日本伝統文化	2	1	22.5時間

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目 (○コマ数、時間数) ・内容
表の日本語科目 (クラスにより異なる)

II) 選択科目 (○コマ数、時間数) ・内容
科目一覧から日本語以外の科目を選択し、履修することができる。

必修科目と選択科目を足して週に7限以上履修すること。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

- ・創価学園 (小学校、中学校、高等学校) にて、交流授業を実施している。(各学期1回)
- ・八王子市の小中学校でボランティアの交流授業を実施している。(不定期)

ただし、コロナウイルス感染予防対策により実施可否は未定。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

協同学習方式の授業については下記URLでシラバスを検索のこと。

<https://plas.soka.ac.jp/csp/plas/syllabus11.csp>

⑪ 指導体制

日本語・日本文化教育センターの教員が担当する。

- 日高 吉隆 准教授 (センター長)
- 岡松 龍一 准教授
- 倉光 雅己 准教授
- 法貴 寿子 准教授
- 佐久川利奈 助教
- 中後 幸恵 助教

■宿 舎

- ・本学の留学生寮に入寮すること。途中の退寮は不可。寮以外の居住は不可。
- ・宿舍費は以下の通り。渡日前に請求書を送付するので前納のこと。支払方法は1学期ごとの分割払い、2学期分を一括払いの2種類のみでクレジットカード決済。支払いの上限設定でクレジットカード決済ができない場合は海外送金も対応可能。

男子寮	入寮費	舎費 (1学期分)	舎費 (2学期分)
宝友寮	¥50,000	¥184,000	¥368,000
滝山国際寮	¥50,000	¥224,000	¥448,000

女子寮	入寮費	舎費 (1学期分)	舎費 (2学期分)
秋桜寮	¥50,000	¥198,000	¥396,000
サンフラワーホール	¥50,000	¥208,000	¥416,000
万葉国際寮	¥50,000	¥224,000	¥448,000
創春寮	¥50,000	¥189,000	¥378,000
友光寮	¥50,000	¥194,000	¥388,000

- ・入寮費は最初の学期に舎費と一緒に支払う
- ・舎費には水道光熱費が含まれる
- ・食費は自己負担

主な設備:

大浴場、トイレ、食堂、台所 (電子レンジ、冷蔵庫)、集会室、ラウンジ、和室、洗濯機・乾燥機

居室備品:

ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚

留学生寮案内ページ

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/department/foreign-info/dormitories/>

■修了生へのフォローアップ

本学留学生の同窓会組織「留宝会」に所属することができる。



■問合せ先

(担当部署)
創価大学 国際部国際課
住所 〒192-8577
東京都八王子市丹木町1-236
TEL +81-42-691-8230
FAX +81-42-691-9456
E-mail intloff@soka.ac.jp

創価大学ホームページ
<https://www.soka.ac.jp/>

創価大学 外国人留学生の受け入れ
<https://www.soka.ac.jp/en/admissions/>

日本語・日本文化教育センター
<https://www.soka.ac.jp/global/global-approach/japan-studies-center>